

令和2年度第2回社会教育委員会議会議録

令和2年度第2回社会教育委員会議会議録							
開催日	令和3年3月24日(水)			開会時間	14時00分		
会 場	市役所5階 502会議室			閉会時間	15時40分		
委員の 出欠状況	原 浩明	欠	片山 義久	出	◎久米 隼	出	
	山口 真司	欠	高田 陽子	出	関口 泰典	出	
	柳下 和弘	出	宇部 章子	出	岡野 琳恵	欠	
	花岡 理恵子	出	伊藤 芳夫	出			
	○村山 喜三江	出	南條 有希子	出			
	小見山 映二	欠	山崎 尚子	出	◎議長 ○副議長		
傍聴者	なし						
事務局	【教育委員会】 大久保教育長、結城教育部長 【生涯学習課】 茂呂課長、鈴木課長補佐、田谷社会教育指導員、西生涯学習推進員 【スポーツ青少年課 】 高橋課長						
議 題	1 社会教育推進に関する意見交換について 「WITH コロナを踏まえた社会教育の推進」						

1 開会

あいさつ

○大久保教育長

こんにちは。本日は、大変ご多用のなか、第2回和光市社会教育委員会議にご出席いただきまして、ありがとうございます。

ご案内のように首都圏の緊急事態宣言は、新型コロナウイルスの感染状況が収束しないなかで解除されました。これからの行楽シーズンを考えますと、三度目の感染拡大、あるいは、変異株による感染が大変懸念されるところです。いっそうの防止対策が必要と考えております。

令和2年度は、日々緊張と不安が続くコロナ禍のなかで、未経験の対応やさまざまな活動の中止、自粛、更には、縮小が余儀なくされてきましたが、このなかでも、新しく身に着けた知識や技術、習慣など、別の面で得るものがあつたとも考えております。

中学校は15日、そして、小学校では本日、卒業証書授与式が行われましたが、学校教育、社会教育ともにコロナ禍における学びの保障はどうあればよいのかが問われた一年でもあつたと思っております。

特に、社会教育では、WITH コロナ、ポストコロナに対応した活動の在り方について、その方向性をしっかりと示していく必要があると痛感しております。

さて、新年度におきましては、今般策定しました「和光市教育振興基本計画」の基本理念である「生涯にわたる自発的な学びと、豊かで健やかな人生の実現を支援する教育」の実現に向けた施策推進が必要であると考えております。

特に、社会教育の分野では、人生100年時代や人口減少社会の到来が見込まれるなかで、社会教育を基盤とした地域づくり、つながりづくり、人材育成、更には2030年度までに17の

願いたいします。どうぞよろしくお願いいたします。

○議長(議事進行)

みなさん、こんにちは。緊急事態宣言は解除されましたものの、いまなお、厳しい状況が続いております。ご出席いただきまして、ありがとうございます。

和光市HPに、「わこうっちの和光ステキ発見！」という市の魅力を紹介するコーナーがあります。あるWeb会社が全国の自治体を対象として実施したランキングで、和光市のキャッチフレーズ「アクセス最高 ちょうどいいまち ちょっといいまち 和光」が「熱いキャッチコピーランキング」の2位にランクインしていることが紹介されていました。

「アクセス最高」という言葉は、都心部へのアクセスがよいということを意識したものだと思いますが、私はこの社会教育委員会として、地域や生涯学習、または、社会教育についてアクセスのよさを追求しなければならないと改めて思ったところです。

事前に送付された本日の資料(1)「わこう市政学習おとどけ講座・和光市民大学を充実させるために」には、私たち社会教育委員と担当課が、力を合わせて取り組んできたこと、少しでもよくしていこうと努力していこうとすることがまとめられています。本日は、コロナ禍での互いの活動を報告し合うことが大切な視点です。また、更に社会教育の推進を図っていくために、本日の議題が挙げられています。

「令和2年度 南部地区社会教育関係委員・職員研修会」に係る講演「コロナに負けるな社会教育」のなかには、「いつでも どこでも どなたでも」というキーワードがありました。正にこのアクセスの良さという言葉だと思います。誰もが社会教育にアクセスできる和光、「アクセス最高」と言われるように努めていきましょう。

それでは、次第に沿って進めていきたいと思います。議題に先立ちまして、委員からの報告をお願いします。「和光市教育振興計画策定委員会委員」をお務めいただいた山崎委員より、ご報告をお願いします。

○山崎委員

「和光市教育振興計画策定委員会」の報告をいたします。

この計画は、国や県の第三期教育振興計画を参酌して、和光市第五次総合振興計画との整合性を図り、策定を進めてまいりました。現状課題の抽出として、和光市教育に関するアンケート調査を小学校5年生、中学校2年生、その保護者、教職員、市民の一部に実施しております。このアンケート調査結果を基にして、策定委員会等による協議、関係部局との調整を経ながら原案を作成するとともに、総合教育会議やパブリック・コメントなどを通して原案のブラッシュアップを図っています。2月に教育委員会で最終案を審議し、3月の議会で報告、4月から計画スタートとお聞きしております。

68、69ページに示されておりますが、策定委員会は11名、庁内検討委員会は8名の委員で構成されております。

67ページに経過が記されております。令和2年5月の定例教育委員会で計画の概要と策定スケジュール等の作成からスタートしております。策定委員会は4回実施されております。1回目は8月、計画策定委員会の概要、アンケート調査の概要、今後のスケジュール、2回目が10月、計画案、和光市教育に関するアンケート速報値について、3回目が11月、基本計画策定について、この時点で総論、各論の審議が行われました。4回目が2月、パブリックコメン

ト結果報告がございました。パブリックコメントの募集に関しては市役所に会場が設けられて、そこで説明を聞き、質問もできるようにされていたそうです。この他に、緊急事態宣言に伴う説明会参加を遠慮された方のために和光市 YouTube チャンネルに動画がアップロードされています。

本計画の冊子ですが、大きく分けて「総論」と「各論」の2つで構成されています。前半部分の「総論」ですが、大きく3部構成となっており、第1章は計画そのものについての説明、第2章では、データ等に基づく現状や課題の分析、第3章では、この計画全体について、説明しています。

31ページをご覧ください。「生涯にわたる自発的な学びと、豊かで健やかな人生の実現を支援する教育」という基本理念を踏まえ、基本方針が4つの柱で掲げられております。

基本方針の2つ目、「地域特性を生かし、生涯継続する学びを支援する社会教育の推進」、3つ目、「福祉、コミュニティ施策との密接な連携による地域・家庭教育の推進」、これらの柱が主として社会教育の分野と考えられます。10の基本施策のなかでは、基本施策の7「児童や青少年の居場所づくり」、8「生涯学習の振興」、9「歴史的文化資源の保存・活用と創造的な文化の振興」、10「スポーツ・レクリエーション活動の推進」が社会教育に該当し、54ページから61ページに掲載されています。

タイトルの下に続くリード文は、基本施策を端的に説明しています。続く2の現状と課題から4の主な取組例までで、現状と課題に対して、具体的にどう取り組んでいくかを説明しています。最後に基本施策の進捗状況を客観的に評価する目安として、各基本施策には指標を示しています。社会教育委員として、同じ目線でゴールを目指して、和光市のために協力していきましょう。以上で報告を終わります。

○議長(議事進行)

ありがとうございました。委員のみなさんから何かご質問等がありますか。私も会議に出席しました。山崎委員のお話にもありましたが、この計画をとおして、社会教育の目標をわかりやすく示すことができたと思います。

31ページには、基本理念、基本方針、基本施策が記されていますが、どれをみても社会教育に関することと言えるでしょう。学校教育であったとしても社会教育を含むということが記されています。

この基本計画を熟読し、理解を深めて、今後の会議を進めていきたいと思います。計画の実現には、この後の取組が大切です。よろしくお願いします。山崎委員には、的確にご報告いただきまして、ありがとうございました。

つづいて、本来であれば、「令和2年度 南部地区社会教育関係委員・職員研修会」のご報告をいただくところでございますが、今年度はDVD視聴という形式に変更されております。みなさんご覧になっていることと存じますので、省略いたします。

○議長(議事進行)

それでは、本日の議題に移ります。担当課より説明をお願いします。

○生涯学習課長

本日の協議テーマ「WITH コロナを踏まえた社会教育の推進」についてご説明申し上げます。

す。

令和2年度は、夏以降もコロナウィルス感染拡大防止のため、生涯学習課の計画事業につきましても、中止または縮小しながら進めざるを得ない状況が続いてまいりました。事業に対する市民のみなさまのご期待に十分にお応えすることができない状況が続いており、大変申し訳なく思っております。

一方、やむを得ず事業、講座等への参加を見合わせる方も見受けられます。これまで生涯学習課が担ってきた社会教育事業は、一人ひとりの生涯にわたる学びを支援し、住民相互のつながりの形成を促進することをねらいとして、「人づくり」「つながりづくり」更には、「地域づくり」に寄与してまいりましたが、今年度は、大変難しい状況を迎えております。

本日、ご出席いただいております委員のみなさまも各団体、組織の活動に苦慮され、取組んでこられたことと拝察いたします。今後も、当分の間、WITH コロナを踏まえた社会教育推進が見込まれることから、本日は、今年度の生涯学習課事業についてご説明し、みなさまから令和3年度事業へのご提言をいただけるようお願いいたします。

社会教育団体等に所属されている委員のみなさまの活動は、市の社会教育推進に欠かすことのできない大きな柱となっております。本日は、各団体等の活動をご報告いただくことをとおして、活動への工夫や悩み等を共有し、市の生涯学習課事業にも活かしていくように検討させていただきたいと考えております。本日は、どうぞよろしくお願いいたします。

○議長(議事進行)

説明に対して、ご質問はございますか。特にないようですので、本日の協議テーマは、「WITH コロナを踏まえた社会教育の推進」といたします。

私たちが取組む社会教育は「社会」をフィールドにして教育を進めるということであり、正にみなさんの活動がこの和光市全体をつくる社会教育の一端を担っています。とはいえ、感染症対策下における社会教育団体の活動は非常に厳しい岐路に立たされていることでしょう。そのようななかでも、各団体におかれましては、工夫をしながら取組まれているとお聞きしております。

そこで、本日の協議では、2つの点について、ぜひお尋ねしたいと思います。1点目は、感染症対策下においてどのように活動に取り組まれてきたのか。2点目は、いま、抱えている悩みについてです。

ご発言をとおして、情報を共有し合いたいと思います。情報の共有は、コミュニケーションを円滑にします。各団体の状況を知ることとは和光の社会教育全体をより活性化させることにつながります。注意したいことは、その情報の良し悪しを評価するのではないということです。各委員がそれぞれの方法や考え方で感染症と向き合っておりますので、正解・不正解があるわけではありません。むしろ正解・不正解がないからこそ、情報を共有する必要があると考えております。

各団体の情報は、すなわちノウハウや知識です。ご発言のひとつひとつが、ノウハウや知識の「蓄積」となり、和光市の発展につながるものだと思います。

事務局より、生涯学習課の事業についてご報告をいただいた後、委員のみなさまに2～3分程度で、感染症対策下の活動への取組や悩みについて、お話しさせていただきたいと思います。それでは、まず、事務局から生涯学習課事業について説明をお願いします。

○事務局(田谷社会教育指導員)

まず、資料(1)「わこう市政学習おとどけ講座・和光市民大学を充実させるために」についてご説明申し上げます。

昨年6月の第1回社会教育委員会にて、令和2年度の取組について、ご説明申し上げました。今回は、表の右側に「今年度の取組」と「次年度の取組」を付け加えております。

委員のみなさまにご提言いただいた内容を事業に反映させるように努めてまいりましたが、社会情勢の変化により、十分な取組には至っておりません。次年度も引き続き、事業の改善に努めてまいります。

つぎに、資料(2)「令和2年度生涯学習課事業について」ご報告いたします。今年度、生涯学習課が実施した事業内容をまとめた資料となっております。参加してくださった市民、児童のみなさまには大変感謝いたしております。国の施設を活用した講座等は、今年度は実施することができませんでした。参加者の安全安心を第一に考え、市の施設、市職員を中心として、事業を実施しております。

令和3年度は、まず、少しずつでも以前の事業内容に近づけ、市民のみなさまのご期待に沿えるように努めてまいります。

本日、お手元に「令和3年度版 わこう市政学習おとどけ講座」パンフレットをご用意しております。ぜひ、ご活用いただきますようお願いいたします。

簡単ではございますが、以上で当課の事業報告といたします。

○議長(議事進行)

ありがとうございました。資料(1)と資料(2)を用いてご説明いただきましたが、悩みながらも努力していることを報告いただきました。

資料(1)については、内容がよくまとめられています。この場で議論したことが、実際に施策に反映され、今年度そして来年度にかけて、よい方向に取組が進んでいるという紹介がされています。引き続き、検討を続けている部分もあり、正に、社会教育委員会がその役割を十分に果たしていることが示されています。

では、次に、各委員よりご発言をいただいた後、協議に移ります。ご発言は2～3分程度でお願いします。

○柳下委員

幼稚園、北子育て世代包括支援センター、一時保育室を運営しております。文部科学省の通知に則って感染防止対策を進めています。幼稚園では、先生がマスクをしているので、子どもに声が届きにくい、表情を伝えにくいという課題もあります。対策を十分に施し、子ども達が密にならないように声をかけながら運営しています。

コロナ禍では、人と人がかかわる場面が少なくなると危惧しています。リモートが進めば進むほど、人と人と同じ空間のなかにいることが少なくなっていくと思います。しかし、学校は学問だけを学ぶ場ではなく、人との関りやコミュニティを学び合う場でもあります。幼稚園では、敬老の日に祖父母に手紙を書きました。以前のように孫と会えない方も多く、喜んでいただきました。お礼状もたくさんいただいています。Web 会議サービスを使わなくてもできることを考えていきたいと思えます。

○花岡委員

文化団体連合会は、15の団体で構成されています。市民まつりでの発表が一大イベントですが、視察研修や講演会も実施しています。講演会の計画を進めていましたが、昨年度、今年度と2回も中止になっています。

役員会は緊急事態宣言の合間をぬって3回行いました。公民館を会場として利用していますが、使用中止になってしまう場合もあります。今年度の総会も書面開催となりました。会員は高齢の方が多く、各団体の長は感染防止対策に気を遣っています。

会員が集まるのが難しいので、つながりが薄れていってしまうことが不安です。外出をしない、人と話さないという方も多いと報道されています。緊急事態宣言が解除されると、すぐに活動再開確認のため電話がかかってくる。みなさんが楽しみにしていることがうかがえます。すぐにでも活動を再開したいのですが、このような状況では、判断に悩むことが多々あります。

○片山委員

学校閉校が続いていたので、PTAの役員選出もできませんでした。昨年度の役員に継続をお願いして、少しずつ活動をしてきました。総会と役員選出はWeb会議で行いました。その後も、コミュニケーションツールを利用して、2か月に1度会議を進めてきましたが、文字情報だけでは伝えきれないものがあることを実感しました。機材も私物使用となってしまっています。

市PTA・保護者連合会の会合は、会議室等使用に制限がかかった時期がありましたので、計画どおりに進めることはできませんでした。県の研究大会もWeb会議となり、最低限の人数で進めました。

「令和2年度 南部地区社会教育関係委員・職員研修会 DVD」には、e 公民館の例が取り上げられていますが、アーカイブ視聴の際は、著作権上の課題クリアが必要と聞いています。公民館でのICT講座を計画していましたが、中止となりました。ご高齢の方を対象としてWeb会議サービスの利用することは難しい状況です。

○高田委員

地域青少年を育てる会でも、ほとんどの事業が中止となりました。総会も書面開催となりました。事業の担当者を決める時には、事務局が書類のやりとりに苦労したそうです。12月に開催した凧作り教室だけは計画どおりに進められましたが、1月の河川敷での凧あげは中止となってしまいました。2月に予定していたカルタ大会も実施を見合わせました。

団体としては、以前は20ほどの団体が加盟していましたが、年々少なくなっています。子どもの数が少なくなった、取りまとめる保護者が少なくなったという悩みをきいています。

団体では、外でできる事業を考えています。市民まつりでも行っている親子ペタンク大会に多くの団体が参加できるように、ペタンクのセットを配布しました。

来年度の総会も書面開催となります。会員の意見をどのようにまとめていくか思案しています。

○宇部委員

民生委員児童委員の活動も自粛が続いています。去年3月から、役員会と定例会のみ活

動を続けています。私たちの活動は、ご自宅を訪問して、お話をさせていただくという活動が主ですが、以前と同じように進めることはできません。詐欺被害防止の資料やコロナに関する資料などをポスティングして、少しでもお役にたつよう努めています。定例会では、短時間で研修をしたり、勉強会を催したりして、自己向上に努めてきました。高齢者対象の会食会が年に6回ほどありましたが、今年は、一切できなくなりました。対象者にお土産を持っていくことをとおして、安否確認をしたり、時には、公民館にお越しいただいてお話をうかがったりしています。

対面で話すことを控えていますので、悩みはつきませんが、関係機関と協力しながら孤立させないように見守っていきたいと思います。

○伊藤委員

人が関わり合うことを少なくすることが求められてきましたので、地域のおまつりなどの行事は全くできませんでした。

変わらずに取り組んでいるのは、子ども達の安全安心を支える活動です。朝霞警察署からも毎日のように防犯情報が発出されています。自治会連合会では、各自治会に依頼し、地域の状況を踏まえながら、登下校時の子ども達の見守り活動に努めてきました。休校期間があったため、子ども達の登校日は少なくなりましたが、多くの方が参加しています。担当する地区では、保護者、自治会役員、マンション管理人、工場や工務店の方などに協力していただきました。防犯推進員としての見守り活動も進めています。防犯に関する情報が、なかなか届けられないという課題はありますが、地域や子どもを守ることは重要ですので、進めていきたいと思っています。

新年度当初のあいさつ運動も中止となりましたが、引き続き、見守り活動の充実を図っていきます。

○南條委員

コロナ対策として、団体内での取り決めや確認をしました。訪問型支援では利用者とスタッフが確認書を交わして、気持ちよく行動、活動できるように努めてきました。

活動案内のチラシ配布範囲も限定せざるを得ませんでしたので、支援件数自体は減っています。子育て世代支援センター「もくれんハウス」は、予約制とし、少人数の受入れとしました。活動をとおして、孤立化している子育て世代が非常に多いということを感じます。コロナ禍で、妊娠、出産にあたって誰のサポートも受けられずに過ごしたという声も数多くきこえてきます。知り合いも友達もいない、ここからどうしたらよいかと支援センターに相談される非常に心細いご家族も見られました。誰もが支援を受けられるということをもっとPRしなくてはいけないと思っています。

屋外の活動では、和光プレイパークを6月から再開しました。案内の範囲を限定しましたが、多くの子どもが来場しました。接してみると、ストレスを抱え込んでいる子どもが多いと感じました。気が向いたときにふらっと立ち寄り、いつでも離れることができる遊び場を大事にしていきたいと思っています。お子さんを連れてくる保護者からの相談も増えています。家庭内不和、それが子どもに与える影響などをきくことがあります。地域のセーフティネットとして、改めて重要な活動だと実感しました。和光市は、転入する方が多いので、PRの方法を検討していきたいと思っています。

○山崎委員

図書館で、視覚に障害のある方やご高齢等で読書が困難な方に図書館資料を一对一で音読対面朗読を行うサークル活動をしています。講師を招いて学習したり、お互いの音読を確認し、スキルアップに努めてきました。サークル活動を振り返ると、講師を招く講座は、半数となり、3回しかできませんでした。定例会も中止とした月があります。開催する場合も、検温、消毒、マスク着用、パーテーション準備などの感染対策を十分に施し、互いの距離に配慮し、休憩も増やしました。

しかし、コロナ感染防止に対する考えは人それぞれです。活動を中止する方もいます。会長は、実施判断を迷います。図書館が利用できる期日、時間にどのように活動するかという悩みがありました。映像の活用や Web 会議の利用を探っていく必要に迫られています。対面での音読が全くできない状況なので、一刻も早くコロナが収束することを願っています。

○関口委員

公募委員として、長い間、いろいろな審議会等に参加しています。WITH コロナの時代ですが、行政のスケジュール上、審議会等が中止となることはありません。市民団体であれば中止という判断ができますが、審議会等は対面が原則で、場合により書面開催となります。審議結果が求められるのです。現在、都市マスタープランの策定にも関わっていますが、スケジュールに則って進められています。

みなさんのお話にもありましたが、対面ではないとなかなか伝わらないものもあります。その場にあった言葉、間のとり方などによって伝えられる思いも違ってきます。個のリテラシーにも左右されます。さまざまな審議会等で施策を検討する場では、難しい部分もありました。

○村山委員

体育協会の事業でも、市民体育祭は中止、子ども達対象のスキー教室も中止にしました。3月末に実施する事業でも、準備は前年の12月から始めます。準備を進めている途中で、中止の判断をせざるを得ないことがあり、残念でなりません。毎年3月に実施しているロードレース大会は、市内だけでなく横浜や宇都宮など関東地方にお住まいの方も申込めます。なお、参加費については、大会要項に返金しない事を記載してありますので、市外の方には参加賞を発送し、市内在住の方には、時間、場所をお知らせして、受取りに来ていただきました。事業を中止しても、その後の対応に労力も時間もかかりました。

協会の会議も3、4か月に1度という状況です。毎年6月には、災害応援協定を結んでいる長野県佐久市の子ども達とのスポーツ交流会を実施しています。このような時期に招待することの是非も検討しなければなりません。いろいろな場合を想定しながら、進めていきたいと思います。活動が途絶えている時期が長くなると、再開時にうまくスタートを切ることができるのかという不安もあります。仕事と活動を両立されている方が多いので、バランスをとることが難しい方も出てくるのではないかと危惧しています。

○議長(議事進行)

ありがとうございました。みなさまのお立場から団体として、個人として取り組んでいること、組織等の活動状況や工夫、そして悩みについて、ご紹介いただきました。ここで、意見交換の時間を設けたいと思います。感想や団体などの活動に参考になる視点をお話ください。

○柳下委員

コロナ感染症が、さまざまな活動に大きな影響を与えていることがわかりました。大変苦しい状況下で、なかなか活動を進めることができないご苦労を感じました。住みやすい和光市にするためには、子ども達も保護者もストレスを抱えない環境づくりが大切です。Web 会議だけでなく、人と人とのつながりが保てるよう、温かさが感じられる活動や多様な世代間の交流を考えていきたいと思います。

○花岡委員

みなさんも、同じような悩みをもっているということがよくわかりました。「ワクチン接種が終わったらね。それまで、もう少し、がんばろうね。」というやりとりが、合言葉のようになっています。人と人とのつながりはとても大事です。会って話をしたり、一緒にお稽古をしたりすることで、心もほっとして、安心して生活することができます。少しでも早く、活動できるようになるとよいと思います。

○片山委員

コロナ禍では、よいこともいくつかありました。小学校の校庭に雑草が目立つ季節になった時のことです。保護者から環境整備や花壇の手入れの声が自然に挙がってきました。有志が集まって、木曜日の朝に活動することになりました。意欲的に活動を続け、卒業式に合わせて花を咲かせ、卒業生へのはなむけとすることもできました。新年度役員の選出も一部は立候補制にしてみました。予定数を超える方が応募され、喜んでいきます。リモートワークが進み、時間に余裕ができた方が増えたことも一因かもしれません。WITH コロナでは、新たなものを創っていくことも必要だと思います。

○高田委員

これからは、コロナと上手につきあっていくしかないと思います。さまざまな活動を再開することにも不安がいっぱいですが、ひとつひとつ運営方法を再確認して進めていきたいと思っています。学校の卒業式も工夫して挙げていただきました。感謝している保護者も多いと聞いています。コロナとうまく付き合っていくことによって、ひとつずつ課題も解決していけると考えています。

○議長

賛否はあることと思いますが、1月の成人式もさまざまな対応をとり、開催したとうかがっています。人生の節目となるお祝いの式を工夫しながら実施している点は、行政の思いが市民の方にも伝わっているのではないのでしょうか。

○宇部委員

Web 会議サービスやコミュニケーションツールは、高齢者にハードルが高いところもあります。少しでも早く、お互いに顔を合わせて、語り合う状況になるとよいと思います。私も Web 会議サービス等を勉強し、できることを広げていきたいと考えました。

○議長

Web 会議サービスやコミュニケーションツールの利用については、生涯学習課でも検討をお願いします。

○伊藤委員

コロナが終息することはないと思います。ずっとつきあっていくことになるでしょう。地域のおまつりにしても、3か月も前から準備に入ります。途中で中止となると、それまでに費やした労力は何だったのかという思いをさせられることもあります。さまざまな行事を、いつ、どのタイミングで、どのように再開していくか、方向性を決めることがいちばん大変です。

別件になりますが、4月から発達支援センターや認定こども園などの市の新しい施設が開設します。見学をさせていただけると、社会教育委員として市民の方に発信していくことができます。

○議長

事務局で実現に向けて計画してください。

○南條委員

ICTを活用して会議をする、会合を持つという努力が必要になっていると思いました。若い方が多い和光市ですので、得意な方から学んで、スキルアップをしていくことも大切です。また、屋外でできる活動を増やしていくこともよいアイデアです。屋内では難しい活動を屋外でできる活動に切り替えていくことで、子ども達が楽しんだり、市民が交流したりするチャンスを増やしていきたいと思います。

○議長

学び合うということは、正に社会教育の基本ですね。

○山崎委員

児童虐待の増加も報道されています。コロナ禍では、子育ての部分に市のサポートが必要でしょう。また、プラスとしてセーフティネットワークの周知も大切です。転入された方にパンフレットの配布等をして、不安の解消に努めるとよいでしょう。コロナ感染防止については、知見も積み上げられてきました。うまく活動が進められるようルールづくりをしていきたいものです。

○議長

孤立や孤独という課題解決は、虐待防止にとっても重要です。各団体も虐待を招きやすい環境に陥らせない取組を進めています。市にとっても、非常に心強いことではないでしょうか。

○生涯学習課長

「わこうっこクラブ」という放課後の子どもの居場所づくりを行っております。これまで、市直営のボランティアによる運営であったことから、コロナ禍では、全会場での開催が難しいこともありましたが、来年度から、指定管理者制度を導入し、子ども達の居場所を確実に確保するこ

といたしました。児童虐待予防としても意義ある事業と考えています。

○関口委員

所属している「和光白子文化の会」では、個人所有の清水かつらが作詞した楽曲のSPレコード、また、かつらが出版社に勤務していた頃、編集に携わっていた「少女号」という雑誌の資料を整理、音源のデジタル化を検討しております。第五次和光市総合振興計画や和光市教育振興基本計画に掲げられた関係施策に反映できるように準備を進めています。

○村山委員

午前中は、グランドゴルフ大会に出かけてきました。参加する高齢者は、生き生きしています。これまでは、集会所などを利用して多人数の会合を設けてきましたが、一度に集まる人数を少なくするなどの工夫をして、活動を続け、高齢者が引きこもりとならないように声かけをしていきたいと思います。

○議長(議事進行)

本日は、多くの意見をいただきました。最初に各委員より現状のご報告いただきましたが、その後、情報交換、意見交換をすることによって、いっそう深められたと思います。

今日のテーマは、「WITH コロナを踏まえた社会教育の推進」でした。ぜひ、みなさん、力を合わせて、この状況乗り越えていきましょう。本日の審議は、会議録として公開されます。情報の蓄積が WITH コロナ時代の取組に参考となり、重要です。

これで議長の席を降りることといたします。ありがとうございました。

○大久保教育長

この一年を振り返ってみると、市民の方、保護者の方の考えは常に賛否両論でした。コロナの状況は1. 2年で収まることはないでしょう。治療薬開発にも取組んでいるそうですが、まだまだ長い時間がかかります。この間、市民の方や子どもたちの学びをどのように保障していくかということを真剣に考えていかなければなりません。地域活動や社会教育活動は、家のなかにいるだけでは、なかなかできないものです。オンラインを活用した学びは、社会教育分野でも今後取り入れていかなければなりません。高齢だからできないではなく、高齢でもできるものは何かという視点が必要です。事務局でも課題として考え、進展させていきたいと思います。

○事務局

どうもありがとうございました。

以上をもちまして、令和2年度第2回社会教育委員会議の審議を終了させていただきます。ここで、結城教育部長より挨拶を申し上げます。

○結城部長

本日は、お忙しいなか、ご出席いただき、ありがとうございます。「WITH コロナを踏まえた社会教育の推進」について、みなさまから貴重なご意見をいただきました。このような厳しい状況にあっても、それぞれの団体でさまざまな工夫をし、活動をされていることは、大変参考

になりました。

コロナウィルスは、かたちこそ違えど、アデノウィルスであり、無数に変異していくようなウィルスです。ゼロになるということはない、ずっと付き合っていかなければいけないのではないかと思います。状況は、少しずつ良くなっていくと思われますので、今後の社会教育の推進に、みなさまからいただいた貴重なご意見を生かしてまいります。

私事ではございますが、37年前に、教育委員会社会教育課に奉職しました。当時、学社連携という言葉が使われていましたが、学校施設の地域への開放が主たるねらいでした。「和光市教育振興基本計画」には、学校を核とした地域づくりを目指す地域学校協働活動の推進が示されており、コミュニティ・スクールの円滑な運営や地域学校協働活動の充実こそが、新たな教育の創造や地域活性化の重要な役割を果たすものと捉えられています。

地域のコミュニティを支えるみなさまと連携をしながら、ともに歩んでいくことこそが、よりよい学校経営につながり、健やかに子ども達をはぐくむといくことです。ぜひ、ご協力をお願いします。

Society5.0 の時代到来といわれています。バーチャルの世界と、それから、リアルの世界を高度に融合させた社会がやってきます。おそらく、本日の会議も、家にいながらも顔を合わせてできるようなシステムが開発される社会になるように思います。また、人生100年時代とも言われています。これから、益々みなさまにはご活躍いただき、和光市のために、そして、みなさまの豊かな生活のために、頑張りたいと思います。

教育部長としての2年の在任中、十分なこともできず、忸怩たるものもありますが、みなさまからいただいたご支援、ご協力に感謝申し上げて、簡単ではありますが、ご挨拶いたします。どうもありがとうございました。

○事務局

本日は13時40分より、「令和2年度 南部地区社会教育関係委員・職員研修会」に係るDVD を上映いたしました。DVD の貸出を希望される場合は、後ほど、担当にお申し付けください。

また、4月になりましたら、各団体より選出された方には次期の委員選出のご依頼をさせていただきますので、どうぞよろしくお願いします。

本日は誠にありがとうございました。